



長尾 義信

野外活動センター跡地の利活用

問 大阪府と府有財産の無償譲渡契約を締結し、早や3年が経つ。「平成27年度には具体的な活用計画を取りまとめた」と聞いているが、その内容を問う。

答 「自然公園施設」としての特性を最大限に活用する方向性で、地域の活性化をもたらされることが期待できる民間事業者の募集に向け、関係機関と調整を行い、8月中旬を目途に活用者を決定していきたい。



広大なキャンプ場と
小中学校跡地の有効活用に向けて
聞く!!

能勢新学校開校後の小中学校跡地の活用

問 町民共有の貴重な財産、地域住民の身近な公共施設である小学校6校・中学校2校の学校跡地の活用策について、行政はどのように検討し進めるか問う。

答 原則、未耐震施設については、除去費用が確保できるまでの間は閉鎖という方針に基づき、経常経費が増額しない方策で検討。また、地域を活性化するための運営可能な団体、民間企業の誘致も視野に入れて検討していきたい。



ラジオ体操の誘致活動
及びスポーツ大会の開催



問 平成28年から開催される近畿高校駅伝大会に合わせ、次世代育成・健康づくりなど積極的な地域の活性化として、町を盛り上げる大会・イベント開催について問う。

答 子どもたちをふくめた年代別等の駅伝をあわせて実施することが可能か、検討を行っていく。また、次代を担う子どもたちがスポーツを通じてさらに活躍でき、町全体を盛り上げる場を、陸上競技をはじめ、様々な分野で関係者の皆様方とも考えていきたい。

一般質問



西河 巧

近年、地球温暖化に伴う異常気象や台風・集中豪雨の多発や南海トラフ地震・火山活動の活発化など、不安が広がっている。



問 宿野三区桜台の太陽光パネル設置工事に伴う能勢町の管理責任はないのか、近隣住民に対しての説明や今後の対策について伺う。

答 平成27年1月に町が宅地造成に関する工事に係る許可、府が砂防指定地内行為に係る許可をした。許可範囲を超えた工

安全で安心して暮らせる町づくり



問 昨年の台風や豪雨災害の復旧状況やハザードマップ作成について伺う。

答 道路災害86件、河川災害29件あったが、ほぼ完了している。農地についてもほぼ復旧されている。ハザードマップについては、現在三つの地区で作成されている。

今、池田土木事務所が主導でハザードマップ作成の指導をさせていただいている。

事内容となっており現在違反案件として指導を行っている。今後については、池田土木事務所と連携しながら指導するとともに、状況については、関係者の皆様に報告をしていく。

